

第36期第6回常任理事会議事録

日 時：2011年1月20日（木）13時30分～16時00分

会 場：日本気象学会事務室（気象庁8階）

出席者：新野，藤谷，石田，近藤，佐藤，中本，三上，余田，以上8名（常任理事現在数13名）

欠席者：岩崎，田中，中島，中村，藤部，以上5名

その他の出席者：鈴木，萩原，田沢（事務局）

議 事

1. 第36期第5回常任理事会議事録の確認

2. 会員の加入・退会

新入会員8，退会107を全会一致で承認。2011年1月19日現在，会員数3,817名で通常会員は1,077名。

3. 役員報酬・退職金に関する規定について

標記の件について検討した。

4. 各委員会からの報告

庶務…転載許可

1) 新田尚氏からKozo Ninomiya and Takako Akiyama, 1992: Multi-Scale Features of Baiu, the Summer Monsoon over Japan and the East Asia. J. Meteor. Soc. Japan, 70, 467-495 のFig. 35 と吉崎正憲，加藤輝之，2005：メソ対流系に関するまとめ。気象研究ノート第208号「メソ対流系」，377-386. の図12.3，図12.5を東京堂出版が発行する「最新天気予報の技術（三訂版）」（天気予報研究会編，新田尚監修）に転載。

・後援名義等使用依頼受付

名称：日本流体力学学会 2011

1) 主催：社団法人日本流体力学学会

2) 期日：2011年9月7日（水）～9日（金）

3) 場所：首都大学東京南大沢キャンパス（東京都八王子市）

4) 名義：協賛

名称：第26回北方圏国際シンポジウム—オホーツク海と流氷—

1) 主催：紋別市，オホーツク海・氷海研究グループ

2) 期日：2011年2月20日（日）～25日（金）

3) 場所：紋別市民会館・紋別市文化会館（北海道紋別市）

4) 名義：後援

・文部科学省から，最近の天下り・渡りの実態に関する予備的調査，平成21年9月19日から平成22年10月1日に新たに役職員等となった再就職した国家公務員および現役出向した国家公務員の有無について調査依頼。当学会は該当事項なし。

・株式会社JTBコミュニケーションズ（旧株式会社ジェイコム）と2011年度春季・秋季大会の業務委託契約を締結。

・東京大学大学院理学系研究科佐藤薫教授に2011年度春季大会の大会委員長を依頼し快諾を得た。

会計…2010年12月分の収支及び現預金検査報告

天気…Vol.58 No.1（2011年1月号）の掲載記事と，Vol.58 No.2（2011年2月号）予定記事の報告。

・天気の投稿規定について見直しを行ったことが報告された。

気象集誌…編集委員会のテレビ会議システムについて議論した。前回常任理事会で作成を承認したリーフレットについては、J-STAGEの移行により投稿先アドレスが変わるため、作成を遅らせることにしたことが報告された。

SOLA…2010年の投稿論文数（80）と公開論文数（43）について報告。投稿数と公開数の開きは年末の投稿が多かったためでありリジェクトが多かったわけではない。

・J-Stageの投稿査読システムについてTomson Reuters社のScholarOne Manuscriptに決定したことが報告された。

講演企画…2011年度春季大会の準備状況について報告。気象教育懇談会は航空気象をテーマとすることが報告された。

総合計画…評議員会について議論した。

学術…委員会の開催予定について報告。

教育と普及…夏季大学のテーマの検討状況について報告。

学会賞…推薦委員会から理事長に推薦され、推薦理由等についてチェックした。今後、全理事による投票により受賞者が決定される。

地球環境…「地球温暖化の本」については進めていく方向で詳細については委員会で検討していく。

コンソーシアム…2011年度春季大会でスペシャルセッションの開催について報告。

5. その他

1) 学術の大型研究計画に関連して様々な分野に対して気象学会で検討していく必要であり、そのための組織について議論した。

2) 2010年度秋季大会の決算報告。

3) 学術会議の第22期会員・連携会員を選考するに当たり、各学協会より情報提供を求められており検討した。締め切りは1月28日。

平成23年2月23日

社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 石田 純一